



平成 23 年 2 月 21 日

各位

会 社 名 株式会社ディー・ディー・エス
 代 表 者 代表取締役社長 三吉野 健滋
 (東証マザーズ・コード番号 3782)
 問合せ先 I R 室 長 鈴木 達也
 電話番号 0 5 2 - 5 3 3 - 1 2 0 2
 (URL <http://www.dds.co.jp>)

平成22年12月期 通期業績予想と実績値との差異、
 営業外費用及び特別損益の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 8 月 11 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期通期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）の連結ならびに個別の業績予想と実績の差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期通期業績予想と実績の差異（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

〔連結〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	473	△99	△114	△158	△1,443 円 91 銭
実績値 (B)	457	△107	△159	△255	△1,775 円 48 銭
増減額 (B-A)	△16	△8	△45	△97	—
増減率 (%)	△3.4	—	—	—	—
前期実績 (平成 21 年 12 月期)	370	△422	△449	△1,410	△19,689 円 58 銭

〔個別〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	473	△88	△103	△131	△1,197 円 17 銭
実績値 (B)	457	△88	△115	△218	△1,518 円 92 銭
増減額 (B-A)	△16	0	△12	△87	—
増減率 (%)	△3.4	—	—	—	—
前期実績 (平成 21 年 12 月期)	363	△402	△446	△1,500	△20,953 円 69 銭

※当第 4 四半期に、738百万円の現物出資となる第三者割当増資を行ったことから、営業外費用となる新株発行費が発生したこと及び平成22年11月19日に証券取引等監視委員会から課徴金納付命令の勧告を受けたことによる引当をしたため利益が減少し、業績予想と実績の差異が生じました。

2. 営業外費用の計上について

当社は、当第4四半期において、平成22年12月21日開催の臨時株主総会で承認された増資に係る新株発行費用として11百万円を営業外費用として計上することにいたしました。

なお、上記営業外費用の発生は、連結及び単体において同じ理由によるものであります。

※主な営業外費用の計上額

〔連結〕

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
新株発行費	11

〔個別〕

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
新株発行費	11

3. 特別損益の計上について

当社は、当第4四半期において、たな卸資産評価損36百万円（なお、第3四半期においては、連結で26百万円のたな卸資産評価損を別途計上済みです。）、無形固定資産の減損損失20百万円及び証券取引等監視委員会からの勧告により引当てた課徴金33百万円を特別損失として計上することにいたしました。また、特別利益につきましては、貸倒引当金戻入により貸倒引当金戻入益を計上することにいたしました。なお、上記特別損益の発生は、連結及び単体において同じ理由によるものであります。

※主な特別損失の計上額

〔連結〕

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
たな卸資産評価損	36
固定資産減損	20
課徴金	33

〔個別〕

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
たな卸資産評価損	36
固定資産減損	20
課徴金	33

※主な特別利益の計上額

[連結]

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
貸倒引当金戻入益	27

[個別]

(単位：百万円)

内容	当第4四半期の計上額
貸倒引当金戻入益	27

以 上